

解 答

- 問 1 (あ) 稲作が本格的に行われるようになり、それまでよりも食料を安定して手に入れられるようになったから。
(い) 千歯こき（唐み・備中ぐわ）
- 問 2 (あ) 日清戦争の前後に、せんい工業を中心とした軽工業が発達し、第一次産業革命が起こった。さらに日露戦争の前後には、金属・機械工業を中心とした重工業が発達し、第二次産業革命が起こった。
(い) 産業革命によって、東京や大阪など太平洋側の都市で工業が発達した。これにともなって工場の労働力が必要となり人口が流入したことなどから、太平洋側の府県の人口が大幅に増えた。一方で、新潟県をはじめとする日本海側の人口の増加はにぶかった。
- 問 3 (あ) 太平洋戦争（アジア・太平洋戦争）
(い) 減っていく。
(う) 人口の減少にともなって、高齢化もすすみ、農業や工業などで働いて産業をささえる人の数もどんどん減っていく。この結果、農業・工業の生産がおとろえて消費も減り、日本全体の経済の規模が小さくなっていくことが問題になると考えられる。また、過疎地も今より増えていくと考えられ、社会生活の成り立たない地域が広がるおそれがある。
- 問 4 (あ) インド・アメリカ・インドネシア・ブラジル・パキスタン・ロシア・バングラデシュ・ナイジェリアから 2 つ
(い) 人口増加が著しい発展途上国で生産された食料が、先進国へ輸出されたり、エネルギーの原料として利用されたりすると、食料不足がさらに深刻になり、飢餓に苦しむ人々が増える。この結果、食料を求める暴動などをきっかけに、内戦や民族紛争が生じるおそれもある。一方で、先進国への食料のかたよりが今以上にすすめば、先進国と途上国の間の経済上の格差がさらに拡大し、国際社会の安全をおびやかす問題にまで発展する可能性がある。